



第47号

発行・編集：福祉のネットワーク永山

事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会

TEL：042-373-5616

令和4年12月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

子どもの現状を知り、地域で見守る

第4回 福祉のネットワーク永山定例会
「子どもの現状と地域での見守り」
11月19日(土)

「福祉のネットワーク永山」の令和4年度第4回定例会が開かれました。「子どもの現状と地域での見守り」をテーマに、児童館や放課後子ども教室、子ども食堂について話を聞き、情報交換を行いました。

◆永山児童館◆

- ・児童館は屋根のある公園。子どもが行きたいときに自由に遊べる場所。
- ・専任の子育てマネージャーを配置。妊娠中から相談に乗れる。



- ・中高生の重点館にもなっている。18～19時は中高生時間。

子どもたちを見守る地域住民にとっても、居場所、地域のつながりを作る場にもなっている。

⇒継続していくには、スタッフが少ないことが課題。見守る住民が増えるといいなあ。

コロナ禍、集団で遊ぶ機会が減ったからか、羽目を外す子も少ない様子。一方で独りで家に閉じこもったり、子どもの様子が見えにくくなっているかもしれない。

⇒地域の大人が気づき、見守り、児童館などにつなげられるといいなあ。



◆放課後子ども教室◆

多摩市17小学校のうち、16校が実施。地域の住民が担い手となり、体育館や校庭で、自由遊びや宿題をする場。多学年で遊べる機会になっている。

＜瓜生ひろば＞

全学年対象で、毎週水曜日実施。イベントもあり。

＜永山小放課後子ども教室＞

3学年ずつ、毎週水曜日実施。



◆福祉亭子ども食堂◆

- ・R4年6月からはじまり月1回第4日曜日に実施。
- ・子どもは無料、付き添いの大人は300円。



地域に住んでいても、知らないことが多い。まずは、関心をもってもらうこと。そして、一緒に活動する仲間を増やすこと。それにより地域のつながりが広がるのではないのでしょうか



福祉亭子ども食堂

地域活動の ご紹介♪

永山 4 丁目名店街にある福祉亭の寺田理事長にお話を伺った。子ども食堂は毎月第 4 日曜日 11 時半～13 時半で定員 40 名として今年の 6 月から始めた。最初は利用者が少なかったが、最近では定員を越すようになってきた。開業時間や定員に関して柔軟性を持たせ、可能な限り対応をしている。4 年生以上は子ども同士で、3 年生以下は保護者と一緒に来店していただいている。毎月みえる子どもたちもあり、スタッフも楽しみにしているし、子どもたちから元気をもらっている。

アレルギー対応はできかねているが、可能な限り努力している。食後の喧騒が落ち着いたらクイズを出したり、ゲームをしたり、あるいは子ども同士で折り紙などをして遊んでもらっている。

ボランティアセンターの紹介でスタッフも集まっており、また、フードバンクの食材もありがたく大いに活用させてもらっている。

この事業が軌道に乗れば、現在の月 1 回から月 2 回の運営を目指している。そのためにはスタッフの拡充が必須で、新たなボランティアさんを募集している。



団地商店街のサンマ焼き大会

地域活動の ご紹介♪

秋も深まった 10 月 22 日、永山商店街の通りで「さんま焼き大会」が催された。通りにテントが張られ、ボランティアたちが団扇を使いながらサンマを焼き、その場で希望者に手渡すイベントだ。主催したのは永山名店会。今年サンマが不漁だが、気仙沼とのつながりで原価で仕入れたそうだ。焼いたサンマは 1,300 匹。以前はサンマを待つ行列ができたことから、整理券代わりに予約購入とした。

サンマを焼いている人たちの中には、若い女性が何人もいた。多摩市にキャンパスがある恵泉女学園大学のボランティア。遊歩道沿いにテーブルが置かれ、家族連れが弁当を広げている姿もあった。「さんま焼き大会」はコロナで中止になっていたが、今年は 3 年ぶりに催したものだ。団地の中の商店街を活性化するイベントなのだ。



<ま・ち・か・ど>



永山 6 丁目では例年夏に盆踊り大会が 41 年も続いて開催されていましたが、コロナ感染の影響でここ 3 年連続して中止となっていました。そこで、今年はコロナ感染状況が下火となる時期に「秋祭り」を企画し実行することになりました。



当日は好天にも恵まれ、焼き鳥、豚汁、焼きそば、スーパーボールすくい等の模擬店、町内各団体（自治会、自主防災会、子ども会、長寿会、菊の会、夢灯り実行委員会他）の活動紹介パネル展示、地域住民参加の交流イベント等、盛りだくさんの企画で大勢の子どもと地域住民が参加し、多

いに賑わいました。この秋祭りは、子どもも大人も障がい者も様々な国籍の人と一緒に安心して生活できるようになる社会を目指して、地域交流を図る狙いから企画されたものです。

